

事業評価調査

(担当課：警察本部警務部会計課)

事業名	玉島警察署庁舎建替整備事業		
長期プロジェクト項目	V-5 身近な暮らしの安全の確保 ・犯罪のない住みよい地域づくり	施設建設に係る 上位計画	

1 事業実施の必要性

政策課題等

政策課題と施設設置目的：

1 県南西部の治安拠点の確立

玉島警察署は、県南西部の倉敷市玉島地区及び浅口郡5町（寄島町、金光町、鴨方町、船穂町、里庄町）148.25 km²を管轄しており、外国船が多数入港する玉島ハーバーアイランドにおける水際での治安対策のほか、管内住民121,165人の安全と安心を守るために必要な機能を備えた治安維持活動の拠点を確立する必要がある。

2 被留置者の処遇、プライバシーの保護等に配慮した施設の整備

【現庁舎の抱える問題点】

(1) 庁舎の狭隘化

- ・ 一般来訪者の待合いスペースの不足
築後35年が経過する中で、事件事故の増加に伴う警察官の増員などにより、建物が著しく狭隘化しており、運転免許更新や各種会議で来訪する一般来訪者の待合いスペースがないに等しく、県民に不便を強いている。
- ・ 相談室等の不足
各種相談に対応する相談室や被害者、参考人から聞き取りを行う専用の事情聴取室を確保できず、狭隘化の進んでいる各課の執務室内で対応せざるを得ない状況であり、プライバシー保護の観点からも問題を抱えている。
- ・ 取調室等の不足
事件事故の増加や犯罪の複雑化等による1件当たりの捜査期間の長期化に伴い、取調室の需要は増大しているが、建設当時と同数の7室しかないため、捜査活動上の深刻な問題となっている。
- ・ 各種設備（施設）の不備
女性用トイレは階段下部を改修した狭小なもので来訪者に不快感を与えている。加えて、身体障害者用便所、授乳室など、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備の余地がない。

(2) 留置施設の不備

留置場の収容定数は建設時と同じ10人であるが、同署を含め県南部を中心として被留置者数が急増していることから、収容定数を超えて収容せざるを得ないなど、留置室の不足も深刻化している。収容できない被留置者については他署へ委

託留置するなどしているが、取調官及び補助官が毎日委託署に出張して取調べを行っているなど、非効率的な業務内容となっており、業務が増加する中において他の警察活動にも多大な支障を来している。

(3) 建物各部の著しい老朽化

警察署は、災害警備本部を設置するなど、防災活動の拠点となる施設であるが、現庁舎は地盤沈下や外部の亀裂に加え、配管類の腐食、電気設備の容量不足等ライフラインの抜本的な改修が必要であり、防災拠点としての脆弱性を有するものとなっている。

3 治安情勢に対処するための射撃場の整備

警察官が現場において凶悪な犯人と直接対峙する可能性が高くなっており、けん銃の適正かつ的確な使用が求められている。このため、射撃訓練の充実強化を図る必要があるが、岡山市玉柏に所在する警察学校の射撃場のみでは、警察署警察官の訓練時間が十分確保できない状況であり、必要とされる訓練時間を確保するために、県南西部に位置する玉島警察署に射撃場を整備することで、効率的な運用が可能となる。

【施設整備に伴う改善指標値の設定】

施設設置目的	目的達成測定指標	現状指標値	改善目標	改善率	改善率目標達成時期	参 考
庁舎の老朽化更新	庁舎建替整備事業なので指標設定困難					
相談スペースの拡充 (気軽に安心して相談できる環境の整備)	警察安全相談等の件数	989件	2,100件	2倍	平成20年	平成16年度における23警察署の相談受案件数計29,221件
留置場不足等の解消による捜査の効率化	収容率が100%を超えた日数	67日	0日		平成20年	平成16年において、適正収容の上限とされる80%以上となった日数234日
射撃訓練強化	射撃訓練人数	1,841人	2,600人	1.4倍	平成20年	警察学校・玉島署

施設整備を行わない場合の問題点

施設整備を行わない場合の問題点：

- ・ 県民から寄せられる相談件数は増加しており、その内容も多岐にわたるなど、警察安全相談体制の充実強化が求められているが、現施設では、警察安全相談室、被害者相談室等の応接スペースを確保できず、プライバシー保護が十分でない。

- ・ 被留置者を定数を超えて収容せざるを得ず、その処遇改善を図ることができない。
- ・ 刑法犯認知件数は2年連続で減少したものの、凶悪犯罪の多発などにより県民の治安悪化への懸念が高まっていることから総合的な治安対策を強化する必要があるところ、取調室や留置場の不足など施設面での制約のため、効果的かつ効率的な警察活動ができない。
- ・ 身体障害者用便所、授乳室、エレベーター等のユニバーサルデザインに配慮した施設整備ができない。
- ・ けん銃の適正かつ的確な使用判断や技能の維持、向上のための訓練が十分できない。
- ・ 警察署は、災害発生時には、災害警備本部を設置するなど防災活動の拠点となる施設であり、災害対策上も整備が急がれる。

代替方法の検討状況：

- ・ 建物面積、建物構造、狭隘化の状況、留置施設の拡充方法、業務上の支障を考慮すると、増改築では、現庁舎の抱える問題点を解消することはできない。
- ・ 警察署庁舎としての特殊な仕様、規格等を満たす既存物件は見当たらない。
- ・ けん銃射撃訓練施設としての既存物件は見当たらない。

県が事業主体となる理由等

(民間実施：可能 困難 不可) (市町村実施：可能 困難 不可)

- ・ 警察行政は、県固有の事務であり民間、市町村が代わって実施するものではない。

管理運営主体

管理運営主体の名称：岡山県

理由： 警察署は、警察活動の性格上、特殊な設備、仕様が多く、また、業務の特殊性から、保秘・防衛対策を講ずる必要があるため、管理運営は直接、警察が行う必要がある。

施設整備の緊急性等

- 1 留置施設が不足していることから、被留置者の処遇改善を早期に行う必要があるとともに、治安情勢に対処するために捜査の効率化を図る必要があるほか、現庁舎の著しい狭隘化に伴うプライバシー保護の問題を解消するため、建替整備が急がれる。
- 2 けん銃の使用判断や技術向上を早期に図る必要があり、整備が急がれる。

2 施設の規模、機能の必要性

施設設置場所選定理由

玉島警察署庁舎所在地は、国道2号線と429号線（旧2号線）に近接した交通の要所に位置しており、旧来からの市街地と都市開発が進む新倉敷駅前地区の間であることから、来訪者の利便がよく、また、事件事故発生時に素早い対応も可能であるほか、倉敷市役所玉島支所等の行政機関にも近接しているため、最適地である。

また、けん銃射撃訓練施設については、近隣の警察署と警察学校射撃場の位置を考慮した場合、県南西部の中心に位置する玉島警察署建替整備時に併せて整備するのが効率的かつ効果的である。

利用者見込

施設利用者数見込	延 67,800人 / 年	
施設利用者数算出方法：	単位：人	
区分 \ 年度	平成20年度	備考
運転免許更新受付者数	16,100	平成16年度実績並み
運転免許更新講習受講者	14,400	〃
警察安全相談	2,100	建替による増加分を見込んでいる。 平成16年度実績を基に管内人口と県民人口の比率で算出した。
許認可申請者	1,200	平成16年度実績並み
自動車保管場所証明申請者	7,900	〃
その他届出人等	26,100	〃
合計	67,800	
施設利用者の範囲 ・主に管内の1市5町の県民		

施設機能別利用見込

機能名	規模・内容	最大収容可能人員
留置施設	30人規模の被留置者を収容する。	10,950人
独立した女性、少年室を配置した施設計画である。		

機能名	規模・内容	年間利用見込
けん銃射撃場	玉島警察署等8警察署の警察官が、実弾けん銃射撃訓練を行う。	700人
県下全域を警察学校射撃場ブロックと玉島警察署射撃場ブロックに区分して、警察官の射撃訓練を効果的かつ効率的に実施する計画である。		

3 財政負担額

整備事業費

総事業費	1,560,652千円
うち用地関係費	- 千円
建物建設費等	1,449,460千円
設計・調査費等	66,920千円
初度調弁費等	44,272千円
既支出額	0円
(総事業費に対する割合 : 0%)	
運営主体への出資出捐金	0円
進入道路整備費	0円

管理運営経費

施設管理運営費		過去3年間の 平均実績 平成14~16年度
人件費835,653千円は除く		
負担 内 訳	県	25,098千円
	(内訳)	
	光熱水費	12,671千円
	修繕費	988千円
	その他庁舎管理費	9,843千円
	射撃場管理費	1,596千円
県補助等		

整備事業費の財源

県負担額	1,319,817千円
(起債見込額 : 1,254,000千円)	
(一般財源 : 65,817千円)	
国庫支出金	240,835千円
その他	(0円)

単年度県負担額

出資出捐金(平準化額)	0千円
建設事業費(平準化額)	50,414千円
運営費等支出額	25,098千円
その他(進入道路建設費等)	0千円
計	75,512千円

事業収支見込み(施設開業後 年目の状況)

事業収入 A	支出額 B	(A / B) C	類似施設等の状況 D	比較 C / D
		%	~ %	

警察署庁舎であり収益を得ることを目的としていないため省略。

管理運営費の類似施設との比較

施設管理運営費 A	延床面積 B	(A / B) C	類似施設等の状況 D	比較 C / D
25,098千円	4,448.17m ²	5,642円	4,942円 ~ 5,705円	1.14 ~ 0.99

4 利用者、地域などへの効果

施設利用者への効果

項 目	効 果 説 明
プ ラ イ バ シ ー 保 護	・ 警察安全相談室、被害者相談室等の来訪者用応接スペースが確保され、プライバシーに配慮し相談者の立場に立った相談業務が実現する。
被 留 置 者 の 処 遇 改 善	・ 被留置者収容定数内の収容、独立した女性・少年室の新設により被留置者の処遇改善が図られる。
県 民 の 福 祉 の 向 上	・ 女子便所、身体障害者用便所、エレベーター、スロープ、自動ドア、授乳室等ユニバーサルデザインに配慮した環境が実現される。
防災拠点としての機能の確保	・ 災害警備本部として、災害発生時その機能が確保される。

地域への効果

項 目	効 果 説 明
地域の治安水準の向上	・ 庁舎建替及びけん銃射撃場の整備により、警察活動の効率化と活性化が図られ、犯罪や事故に対する抑止力が強化される。
地域の安全拠点の確立	・ 整備された施設を拠点とした各種相談受理、協議会開催等を通じて地域住民の安心の拠り所となるほか、地域安全のシンボルとしての役割を果たす。

施設設置によるマイナス効果

射撃場でのけん銃発砲音が庁舎外に漏れる可能性があるが、防音措置を講ずることにより遮音することとしている。

その他(地元市町村の意見等)

倉敷市長

- ・ 治安の回復が叫ばれるなかで、市民にとっても安全、安心の拠点施設である警察署が建て替えられることは大変喜ばしいことである。現在の治安情勢に対応した施設が一日も早く整備され、効率的な警察活動が推進されることを切望する。

玉島商工会議所 専務理事

- ・ 現庁舎は、1階客溜まりでの優良運転者講習は玄関を出入りする人が気になり落ち着かないほか、3階の講習会場に行くには階段しかなく老人や障害のある人には厳しい環境であり、また、事務室部分も相談か事情聴取かわからないが、面談している様子を見ると個室となった相談室の必要性を感じている。1日も早

く、広く明るく訪れやすい警察署を建てていただきたい。

新倉敷駅前連合町内会長

- ・ 今の警察署は駐車場が狭く、立ち寄っても駐車できないことがあったり、無理矢理駐車して事故処理車が出動するのに困っているのを見かけるので、駐車場は広くとって欲しい。庁舎は1階は特に狭く、人混みの中を体を斜めにして通ることもしばしばある。各階フロアに来訪者用椅子と課長席周辺に会議セットくらいは設置してもらいたい。

玉島浅口学警連協議会会長

- ・ 現庁舎は駐車場が狭いことに加え、落ち着いて相談する部屋がない。ぜひ、できる限り広い駐車スペースの確保と相談室の整備をお願いしたい。

玉島警察署協議会会長

- ・ 玉島警察署の建替については、近年、住民の話題にもなっており、実現の運びとなれば大変喜ばしいことである。建物の狭さや駐車スペースの少ないことによる不便さを早期に解消して欲しかった。地盤沈下も進んでいるようであり、できる限り早く建替整備してもらいたい。

玉島地区交通安全母の会会長

- ・ 現庁舎に不足しているものに、余裕のある会議室、相談室、駐車スペース、トイレの数、エレベーター、各課の応接スペース、ゆとりを感じさせる各階廊下、待合いスペースがあるので、新庁舎整備の際は十分検討していただきたい。

5 事業手法のあり方(PFI手法の導入等)に係る検討経緯

検討内容及びその結果

1 施設整備手法の検討

- ・ 警察施設では、特殊な仕様による発注となるため、民間事業者等が有するノウハウや創意工夫を十分活かすことができないため、事業コストの削減効果が期待できない。
- ・ 事業規模が小さいため、民間の資金調達コストや公共の手続きコスト等追加コストを上回る事業コストの削減効果が見込まれない。

2 管理運営手法の検討

警察署は、その業務の特殊性から保秘・防衛対策を講ずる必要があり、施設管理のすべてを民間事業者に委ねることができないため、民間事業者等の創意工夫を活かした管理運営による業務の効率化を図ることができない。

3 検討結果

以上により、事業手法は公設公営方式によることとしたい。

事業評価委員会意見

1 事業を実施する必要性について

- ・ 現庁舎は、築後35年が経過する中で、建物が著しく狭隘となっており、一般来訪者の待合スペースや各種相談室が確保できていないことは、県民に著しい不便を強いているだけでなく、プライバシー保護の観点からも問題である。
- ・ また、被留置者数の増加に伴い、留置室及び取調室が不足し、警察活動上の制約となっていることは、治安対策の強化の面で問題であるほか、被留置者の処遇面でも改善が求められる。
- ・ これらの課題を解決するため、県において新庁舎を建替整備することは必要であると考えられ、施設の性格に鑑みると、できるだけ早急を実施すべきである。
- ・ さらに、近年、犯罪が凶悪化している状況に鑑みれば、警察官のけん銃訓練の充実強化を図るため、けん銃射撃場を拡充整備することは必要性が認められる。

2 施設の規模、機能等について

- ・ 本計画で建替整備予定の施設は、警察署に求められる基本的な機能を賄うものとなっており、施設の規模や機能については、特に問題ないと考える。
- ・ また、けん銃射撃場についても、特に問題ないと考える。
- ・ 警察安全相談室、被害者相談室等の一般来訪者用応接スペースについては、地域住民の方が相談しやすい環境づくりに十分配慮すべきである。

3 財政負担額と効果の比較について

- ・ 極めて厳しい財政状況に鑑み、建物建設費については、そのさらなる縮減に向け、一層の努力を続ける必要がある。
- ・ 建替整備に当たっては、耐久性・機能性を重視することが必要である。
- ・ また、地盤沈下については、慎重に調査し、対処することが必要である。

4 最も効率的な事業手法の在り方について

- ・ 警察署は、その仕様の特殊性及び保秘・防衛対策を講じた管理運営が求められることを勘案すれば、県直営により整備・運営されることは妥当と考える。

施設整備に関する総合意見

- ・ 本整備計画については、事業の必要性及び緊急性が認められ、内容も概ね適当であると考えられる。
- ・ なお、本県の財政状況に十分配慮し、できるだけ建設コスト及び管理運営経費の低減を図るよう、努めるべきである。

施設整備計画

玉島警察署庁舎建替整備計画

(1) 建設予定地

ア 場所 倉敷市玉島1354番地(現在地建替)

イ 敷地面積 7,406.65㎡

(2) 建物

区 分		現 庁 舎	新 庁 舎
敷 地	面 積	7,406.65㎡	7,406.65㎡
庁舎本館	構 造	R C 3階建	R C 5階建
	延 面 積	1,478.16㎡	3,413.82㎡
	建設年月	昭和45年3月	平成19年末予定
付属建物	車 庫	274.86㎡	430.10㎡
	射 撃 場		344.25㎡
	霊 安 室	14.56㎡	15.00㎡
	倉 庫	91.59㎡	146.00㎡
	自 転 車 場	75.78㎡	99.00㎡

(3) 総事業費

1,560,652千円

(4) 整備計画

区分 \ 年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業評価委員会付議	—		
実 施 設 計	—		
建 設 工 事		—	—